丸山湿原群保全の会会報

（第 134 号）

発行日：2018 年（H30）９月 12 日　編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211　宝塚市大原野字炭屋 1-1　西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住）
E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

台風２０号が８月２４日、２１号が９月４日。雨が降らずにどうなることかと思っていた時にやってきました。台風前に少しでも稲刈りを済まそうと、多くのコンバインが動いていました。

そして、**どちらも直撃！**２０号は西日本に大水害をもたらし、２１号は近畿周辺に未曾有の被害をもたらしました。都市部では大規模な停電、倒木被害や屋根の損傷。車が飛ばされる光景は何か映画を見ているようでした。**地震も含め、被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。**

本当に極端な天候が当たり前の時代をむかえつつあるようです。

地球４６億年の歴史から見れば、小さなチリが着いた程度の変化でしょうが、人類にとっては絶滅の危機になるのかもしれません。極端な天候を人類が引き起こしているのか、それとも地球規模の小さな自然変化なのかよくはわかりませんが、人類先細りでも謙虚に生きていくしかありませんね。

北海道の地震も大変な被害。亡くなった方のご冥福と早い復興を願います。しかし、全道ブラックアウトには驚きました。泊原発の外部電源も一時喪失。休止中とはいえやはり…。

話は台風に戻りますが、関空の非常用電源もいまだに地下にあったことに驚きました。関空は津波による被害はないと判断していたのでしょうか？いらぬ話でした。失礼。

さて、丸山ですが台風被害というより**大雨の被害のほうが大きいようです。歩道は山からの出水で川状態。表土を洗い流して深掘れや石があちこちに出ています。湿原自体に被害はほとんどないようですが、第１湿原端末の出水口の深掘れが進んでいる？ようで気になります。**

（今住　９月 11 日作成）

活動報告　★８月 26 日（日）定期活動　７名で活動　晴れ　ササ刈り作業（写真は翌日撮影）
倉庫整理　　オオスズメバチ駆除は８月 30 日（木）

道に倒れたタカノツメ処理

歩道ササ刈り

この日は村の用事のため私は参加できず。**そんな日に悲劇は訪れます。**歩道沿いのササがまた茂ってきたというので、平場付近の刈り取り。そんな中、１人湿原付近の刈り取りへ行く方が。（何か気になるものがあったのか？）しばらくすると、戻ってこられ**「オオスズメバチに刺された」**と。第３湿原と第１湿原の間、歩道わきに巣ができていたようです。第３湿原東側木道へ向かう道との分かれ道付近です。昨年も巣を駆除しましたが、**日本最大最強（毒も）のハチです。本来攻撃性は低くめったに刺すことはありません。ササ刈りをして巣に刺激を与えたようです。自力で下山され安静に。特に変化はないようですのでアナフィラキシー反応はなかったようです。**本来ならすぐ病院なのですが、あまりに平気なようなので患部を冷やし様子を見ました。黒い帽子の上か

整理された倉庫

ら刺されたとのこと。刺されたところは痛むが腫れも特になし。翌日はなんともなく仕事へ向かわれたそうです。特異体質か？ハチ毒に異常に強い？以前にも何種類かのハチに刺されたことがあるとのこと。抗体ができてしまうとアナフィラキシーショックを起こします。大変なことにならなくてよかった。と報告がありました。（また見ていたように書いてしまいました。）

確認したオオスズメバチの巣

現場にいなかった人間として冷静に考えてみると…。刺されて腫れないことがある？想像ですが、刺さないでかんだのでは？毒針ではなくあの顎で。もしくは帽子の上からなので毒の注入がほとんどなかったか。

不幸中の幸いでした。今後もご注意を！

襲うハチ駆除と巣の掘り起こし

歩道の際で、スズメバチの巣はこれから大きくなる時期であることから駆除してくれとのこと。

翌日場所の確認に行くと、いましたいました。昨年刈り取って積んだササの下に。何かが少し大き目の横穴を作ったのか。その奥に入っていきます。木の根の下に作っているようです。周りを見るとササの刈り取り後が。やられるはずです。オオスズメバチが数秒に１匹帰っては出ていきます。しかし、それほど数は多くはなく、意識しないと気づかない程度です。現にハイカーが普通に横を歩いて行かれます。（気をつけてくださいと言っているのにも関わらず。）キイロスズメバチではこうはいきません。近づくだけで、数十匹攻撃態勢になっています。

ハチの巣と羽化したハチ

掘り出されひっくり返された巣

丸山でキイロスズメバチの巣は確認していません。でも、ご安全に！

県にお願いし、後日業者対応で駆除いたしました。昨年と同じ業者の方でした。暑い中ご苦労様でした。幼虫は、まるまる太りおいしそうでした。

里山大学安全講習受け入れ

★9 日月 1 日（土）18 名の受講生　スタッフ５名
講師　NPO ひょうご森の倶楽部　と　森林林業技術センター職員

北摂里山大学（7 期生）の第 5 回講義として「里山整備の安全講習」が宝塚西谷の森公園多目的室で行われました。実習は湿原見学を兼ね、丸山湿原で実施。

学びの姿

まず森林林業技術センターの方から里山管理が防災から減災に変化しているというお話。雨による表面浸食軽減のための森林管理や高林管理（奥山）と低林管理（里地付近）の在り方を講義されました。内容はかなり専門的で、さすが大学という内容でした。学習する価値ありです。

作業前のストレッチ

第２講は、ボランティア団体老舗の NPO ひょうご森の倶楽部による「里山保全活動における安全管理」。安全マニュアルをきっちり作っておられ公開されています。活動は兵庫全域にわたる 20 か所。里山管理リーダー講習なども実施されています。川西の黒川でも活動中。服装から伐倒方法・倒木処理まで、安全に作業するための講習です。もちろん危険生物やハチについての注意も。

立木伐採実習

午前の講習の後、丸山湿原に実習へ。まず服装チェック、駐車場

視点場入り口も実習で整理　感謝！

で道具の貸し出しと準備運動（ストレッチ）。
見習わなければいけないことばかりです。そしていざ丸山湿原へ。付き添いスタッフとして参加していた私は半袖。きっちり怒られました。反省。
現地を下見されていたので活動はスムーズです。いくつかの班に分かれ危険がない距離を確保します。ノコギリで株立ちのリョウブの間引き、剪定ばさみやカマでササ刈りなど、的確な指示で実習が実施されました。さすがだと感心した実習でした。
会員にも里山大学 OB は数名おられます。その作業を見ているとやはり丁寧。おススメです！ただし受講料は 1 年間（全 11 回）18,000 円。元が取れる内容です。お前が受けんかと声が聞こえそうですが…。第５回の講義受けたし！（ただで…。請求来たりして。）

定期活動

★9 月 8 日（土）定期活動　２名で活動　（大雨警報発令中でした　知らんとは強いもんですわ！）
定期基礎調査、巡回、倒木処理（台風被害通路）、観察

目的	市内	市外
丸山	39	86
ハイキング	50	12
その他	0	2

来場者数　計 189 人
（竹筒ポスト人数）

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度（EC）	PH
入口	10：00	23.3℃		
視点場	10：46	22.6℃		
第３湿原	10：46	【21.1℃】	30.9μS/cm	6.2
第１湿原	11：13	【22.1℃】	29.7μS/cm	6.5
第２湿原	11：58	【21.7℃】	31.2.μS/cm	6.2

【湿原の様子】
竹筒ポストの人数が増えています。めでたいめでたいと思いますが、サギソウ調査、里山大学の参加者にはポスト前で「ほぼ誰も入れてくれないポストです。ぜひ入れてください」と説明した結果でしょう。やはり少し考えないといけないかもしれません。
電気伝導度（EC）はご覧の通り大雨が降り見事に低くなりました。しかし、水量はかなりのものだったらしく、歩道は川状態。（警報発令中）道の深掘れはさらに深くなっていました。付近のハゲ山（ズリ）にも土砂の流れ落ちた筋が。遠目にもはっきり確認できます。シルトの供給に役立っているのか？それとも深掘れの原因を作るのか、よくわかりません。とにかく一時の雨量（短時間降雨量）が多すぎます。湿原内の草本類がなぎ倒されているところも多く見られます。少なくとも水が川のように湿原内を流れていたのでしょう。水路化している部分もあり、そこを中心に深掘れが進むのではと心配されます。第 1 湿原出水口もシルト壁が剥がれ落ちている部分が見られました。全体としてゆっくり後退しているのは否めないとしても、急激な後退は避けなければなりません。今後注意深く見ていく必要あり。

洗われ水路と化す旧道

第 1 湿原出水口　端が剥離

水でなぎ倒された湿生植物

アカネ属最小　ヒメアカネ？約 3 ㎝

しかし、湿原内は確実に秋の雰囲気を見せてくれています。ハッチョウトンボ（八丁蜻蛉）は消え、ヒメアカネ（姫茜）≪兵庫県 RDB 要注目種≫と思われるトンボが多く飛んでいます。こ

れは湿原より林縁に多い。アカネ属（アカトンボ）最小のトンボだったと思います。

ホザキノミミカキグサ（穂咲の耳かき草）が径を伸ばし大きくなっています。ミカヅキグサ（三日月草）は茶色になり種子へ。

今年はサワギキョウ（沢桔梗）が不作なのかあまり見かけません。サギソウ（鷺草）はなごりのように。その代わりと言っては何ですが、ミズトンボ（水蜻蛉）≪環境省 RDB Ⅱ類　兵庫 RDB C ランク≫の花が。通称エイリアン。とても奇妙な形をしたランです。サギソウの栽培は容易ですが、ミズトンボの栽培はとても難しいそうです。大切にしたい花です。見つけられるかは？？？ですが。ちなみに、三田の皿池湿原にはありません。なかなか見られない花です。こんなことを書いたら、返り討ちにあうかも。昨年は根性で皿池にあるホンゴウソウを丸山で見つけましたから。湿生植物なのであったら見つかっているでしょうね。もし出たら連絡お願いします。ただし種蒔きは NG で。蒔いても出ないような気がしますが…。なんか偉そうに言ってしまいました。ごめんなさい。かぶっているのがほとんどですが、お互い無い物もありますものね。ウメバチソウ（梅鉢草）も皿池湿原や網引湿原には出ないとのこと。不思議です。その代わりサワシロギク（沢白菊）は丸山にはない！なんでなんだろう？

ホザキノミミカキグサ

複雑な形のミズトンボ

ウメバチソウ蕾

実際の大きさ

と、ウメバチソウの話が出てきましたのでウメバチソウです。たくさん花芽を付けています。今年は早いかも？真っ白な蕾をつけていました。サワヒヨドリ（沢鵯）も数は多くありませんが、湿原の周辺で見られます。これは歩道沿いの湿ったところのほうが見やすいと思います。まるでフジバカマ（藤袴）。藤袴は干した葉の香りがよく、匂い袋に入れたとか。奈良時代サワヒヨドリを混同していたという説も？よく似たヒヨドリバナ（鵯花）もあるのでお間違いなく。キセルアザミ（煙管薊）も咲き出しています。

サワヒヨドリの花

ナラタケモドキ？

最後に、雨が降ると途端にキノコがわんさか。ナラ枯れの木からはナラタケモドキと思われるキノコがたくさん出ていました。食用になりますが繊維質が多く食べすぎるとおなかを壊すそうです。もしよかったらお試しください。責任は持ちませんが…。マンネンタケも１つ健在でした。

秋のセミナー　10 月 27 日（土）

場所：兵庫県立「宝塚西谷の森公園」多目的室

内容：① 西谷の森公園で出会った昆虫たち

② 西谷の地質と暮らし

ぜひご参加ください。

申し込みは　「西谷の森公園」　まで。

次回活動日　　９月 23 日（日）作業

10 月 13 日（土）10 月 27 日（日）セミナー

10 月 28 日（日）作業　11 月 10 日（土）

ひえーもう冬や！